

自分の考えを整理・深化させる活動の工夫

即興で話すこと〔やり取り〕の力を育成する帯活動

目的や場面、状況等を理解した上で、[自分の考えをもつ→言語活動を行う→振りかえる→考えを広げたり深めたりする]一連の活動の中で、「何を伝えるのか」という内容と、「どのように伝えるのか」という形式を自分で考え判断させて表現させます。そして、その一連の活動を繰り返すことで、伝える内容や形式がよりよく変容していくことを目指します。

目的や場面、状況等の理解

・誰に、何のために、どうするのか、を意識してやり取りを行えるよう、生徒にとって身近で具体的な目的や場面、状況等を設定する。

[ALTに、アドバイスをするため、パートナーと相談する]
[クラスメイトに、お互いをもっと知るため、伝え合う]
など

【話題の例】

夏休みに ALT の友達が初めてこの町に遊びに来る。どこに連れて行けばよいか悩んでいるので、おすすめの場所を教えてください。

次の時間の言語活動につなげる

言語活動①

・話題だけを提示して、何も指導せずに自分のもっている力だけで英語で1分間やり取りを行わせる。
・何を伝えるのか(内容)、どのように伝えるのか(形式)についての考えをもたせ、自分で判断させて表現させる。



言語活動②

ポイント!

・気付いた内容や形式を自分の判断で取り入れる機会を与えるため、言語活動に再度取り組ませる。
・自分の考えと相手の考えを比較したり、相手が伝えた内容や使用した形式から学んだりすることで、自分の考えを広げたり深めたりさせる。

振り返り

・伝えられなかったことを解決するために必要な内容や形式に気付かせるなど、新たな発見や再認識の機会を与える。
【振り返りの例】
・ある生徒が伝えられなかった表現を他の生徒から教師が引き出したり、伝えられなかった表現や新しい表現を教師が使ってみせたりする。
・表現の間違いを訂正させる。

アクティブ・ラーニングの視点による授業改善のポイント

[自分の考えをもつ→言語活動を行う→振りかえる→考えを広げたり深めたりする]という一連の活動の中で、「何を伝えるのか」という内容と、「どのように伝えるのか」という形式を、自分で考え判断させて表現させます。そうすることで、①相手が言ったことに対する感想を述べること、②相手が言ったことを言い直して確かめること、③相手の話に関連して自分のことを伝えること、④相手の話に関連する質問をすること、⑤一つ的话题を一貫してやり取りを継続させること、が期待できます。